

「目指せ防災マスター！地球最速の防災パートナーを見つける防災マッチング」

プロジェクト概要書

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会
国土強靱化委員会

1. 本プロジェクトの主旨

昨年には大阪府北部地震、台風21号により甚大な被害が発生するなど、近年、近畿2府4県では大規模な災害による想定をける被害が多発しております。また、今後30年以内に南海トラフ地震が発生する可能性は約80%といわれており、近畿圏内でも10万人近い死者が出る可能性があるかと推定されています。

このような中で、災害発生時に地域を越えて多数の団体が協働し、迅速に被害の抑制、復旧に取り組む体制を確立するための、災害対策ネットワークの構築が急務となります。

そこで、我々青年会議所と、行政や社会福祉協議会、災害対策に取り組む民間団体が手を取り合い、災害時に迅速かつ的確に行動できる災害対策ネットワーク構築を推進するために、「目指せ防災マスター！地球最速の防災パートナーを見つける防災マッチング」と題したプロジェクトを企画致しました。

2. 青年会議所について

青年会議所(Junior Chamber:JC)は、明るい豊かな社会の実現を理念に掲げる非営利団体で、20歳から40歳の青年経済人によって構成されています。近畿2府4県では現在94つの青年会議所が活動しており、約5,000名の会員が所属しています。

会員の多くは経営者や個人事業主であり、建設業、不動産業、土業、IT業等、多様な職種に従事する会員が自己研鑽やまちづくりのために活動を行っています。

昨年9月には内閣府との間で「未来へつなぐ防災プロジェクト」のタイアップ宣言を行い、内閣府と協力して全国での防災減災活動に取り組んでいます。

3. 青年会議所の災害時の役割について

青年会議所は、これまでも昨年7月の西日本豪雨被害の復旧支援等、全国に広がるネットワークを駆使して災害支援活動に取り組んできました。

前述のとおり、青年会議所には多様な職種の会員が所属しており、土木業者、塗装業者、造園業者等の専門技術を有する業者や、生活必需品を供給できる小売事業者、物資の輸送に寄与することのできる運送業者、医療従事者等、災害時に力を発揮することのできる会員も多数在籍しています。

そして、会員の多くが中小企業の経営者や個人事業主であることから、災害発生時には迅速に意思決定を行い、社業を活かした災害支援に取り組むことが可能であり、災害発生時の実働部隊として重要な役割を担うことができます。

4. プロジェクト内容

本プロジェクトでは、各地の青年会議所や行政、社会福祉協議会、災害対策に取り組む民間団体の地域内外での連携を強化し、災害対策ネットワークの構築を推進することを目的としています。青年会議所の所属する多様な職種の会員が有する専門技術や物流網を活かした迅速な対応力と、行政や社会福祉協議会等による正確な情報や実績・経験に基づく状況判断が合わさり、災害時の迅速かつ的確な行動が可能になると考えております。

具体的には、以下の2つの手法により災害対策ネットワーク構築を推進して参ります。

- ①災害リスクヘッジ会議の開催
- ②LINE@を活用した連絡網の確立

①災害リスクヘッジ会議の開催

近畿圏を3エリア(兵庫・大阪、和歌山・奈良、滋賀・京都)に分け、2か月に1回会議をおこない、各地青年会議所の災害対策担当者や、地域の災害対策に取り組むボランティアセンター、社協、学生サークルなど各種団体に参加いただきます。各団体の取り組みの紹介や災害対策についての意見交換を通じてパートナーができるようにマッチングし、災害対策ネットワークの構築を推進します。

会議にご参加いただいた団体には、各地青年会議所が提供できる専門技術者等の人員、物資等を取りまとめたリストをご提供致します。

【日程及び会場】

第1回 災害リスクヘッジ会議

2019年3月29日(金) 15:00～16:30

〒640-8392 和歌山県和歌山市中之島1518中之島801ビル3階

第2回 災害リスクヘッジ会議

2019年5月17日(金) 15:00～16:30

〒663-8204 兵庫県西宮市櫛塚町3-5

第3回 災害リスクヘッジ会議

2019年7月12日(金) 15:00～16:30

〒524-0021 滋賀県守山市吉身2丁目5

【内容】

(1)災害協定締結の必要性についてのプレゼンテーション(10分)

公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会国土強靱化委員会より、青年会議所と地域の各種団体との災害協定締結の必要性についてのプレゼンテーションを行います。

(2)自己紹介(20分)

参加団体より、団体自体の情報や取り組み内容についての紹介を行います(1団体2分程度とします)。

(3)名刺交換会・マッチング開始(1時間)

参加団体間で名刺交換や災害対策に関する意見交換の時間を設け、参加団体のマッチングを図ります。

(4)サポート

会議開催後も国土強靱化委員会が参加者と連絡を取り合い、各種団体との災害協定締結に向けたフォローを行います。

②LINE@を活用した連絡網の確立

連絡方法としてLINE@（※4月以降は「LINE 公式アカウント」に名称変更予定）を活用して連絡網を構築します。国土強靱化委員会担当者が運用する個別チャットを用いて各団体からの情報収集を行うとともに、災害対策ネットワークの参加団体全てが参加する全体チャットにて各団体の紹介や取り組み内容の配信、災害発生時の連絡を行います。

参加団体に配布する以下のステッカーにLINE@の友達登録へと誘導するQRコードを載せることにより、災害リスクヘッジ会議への参加団体だけでなく、ステッカーからLINE@へと誘導し、会議開催後も連絡網の拡大を図ってまいります。

JCI
Junior Chamber International Japan

目指せ防災マスター!地球最速の防災パートナーを見つける防災マッチング

防災パートナーの登録と防災に関する情報をLINEでお届け!近畿圏内での災害時に助け合えるパートナーをマッチングしています。防災に関する取り組みや、防災パートナーをお求めの場合まずはお気軽に登録してください。

防災パートナー協定

LINE ID @fmb8266k
LINEは上記QRコードをスキャンしていただくか、
またはIDからパートナー登録していただけます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会が
主導で行っている事業になります。

5. 本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

国土強靱化委員会 副委員長 今村 哲朗（携帯：090-1584-7173）

（メールアドレス：19kokudo.network@gmail.com）